

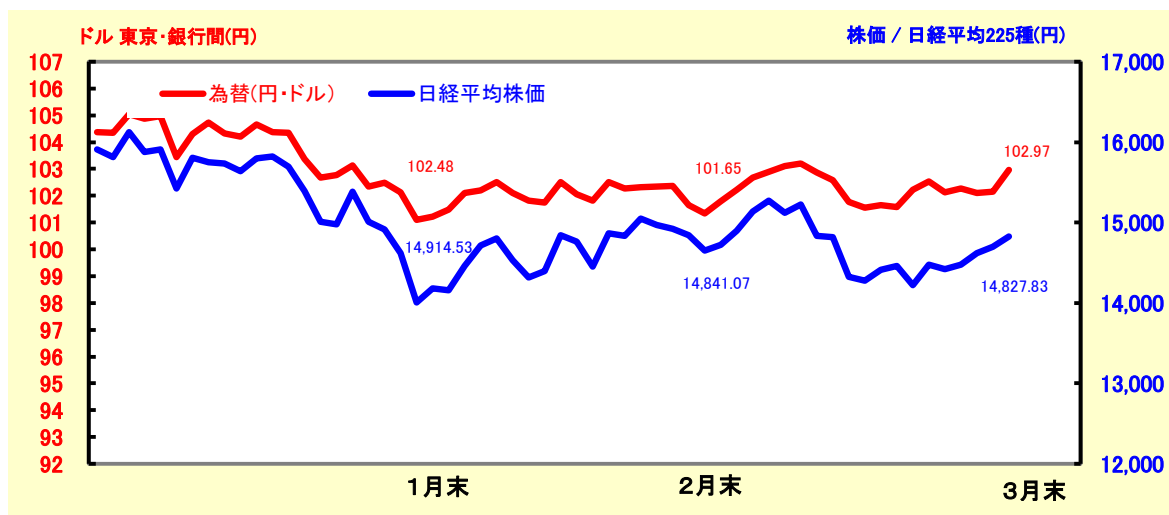
みらいしんきん Report

景気動向調査のまとめ

調査期間 平成26年1月～3月

大分みらい信用金庫では、3ヶ月毎に「中小企業景気動向調査」を実施しています。

株価と為替の動き



調査内容

平成26年1～3月期の業況/平成26年4～6月期の業況予想

今回の調査実施時期

平成26年3月中旬

調査先数

大分市・別府市・中津市・宇佐市・豊後高田市・由布市・日出町・福岡県築上郡(事業所215先)

調査先業種内訳

製造業	31先	小売業	61先
卸売業	25先	サービス業	60先
建設業	22先	不動産業	16先

調査方法

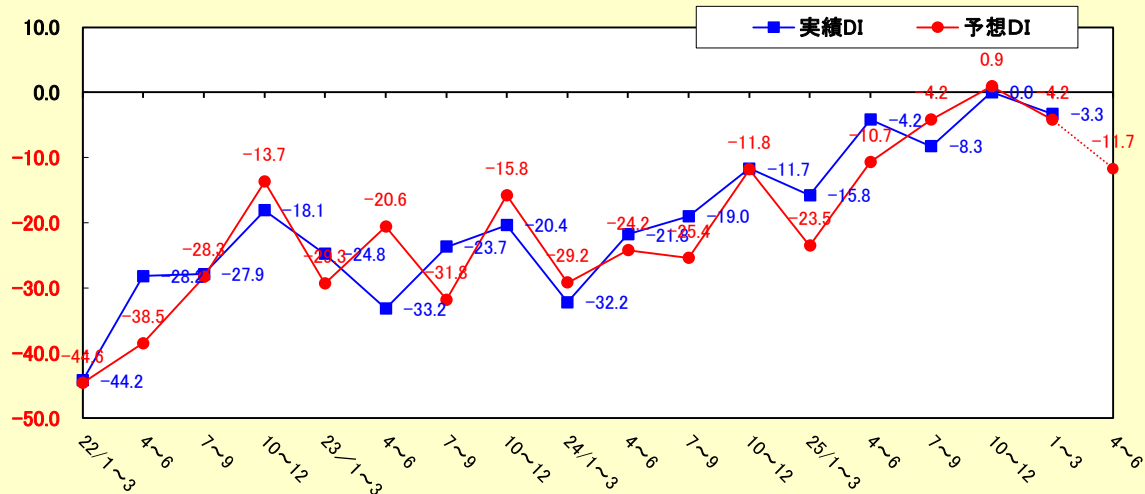
面接・聞き取りによる感触調査

分析方法

各質問項目で、「増加」(上昇)したとする事業所の全体に占める割合と、「減少」(下降)したとする事業所の割合との差(判断DI)で分析しています。

県内経済概況

業況判断・実績DI/予想DI値推移



業種別天気図

表の見方



		1～3月期実績				4～6月期予想			
		総合	別府	大分	県北	総合	別府	大分	県北
総	合	▲ 3.3	▲ 22.0	7.1	17.9	▲ 11.7	▲ 24.4	▲ 4.8	2.5
製	造 業	▲ 3.2	▲ 6.2	0.0	0.0	▲ 12.9	▲ 25.0	60.0	▲ 30.0
小	売 業	▲ 31.1	▲ 57.6	▲ 14.8	0.0	▲ 37.7	▲ 46.1	▲ 37.0	▲ 12.5
卸	売 業	▲ 4.0	0.0	0.0	▲ 16.6	▲ 8.0	▲ 11.1	▲ 10.0	0.0
サ	ー ビ ス 業	▲ 10.1	▲ 28.5	3.5	33.3	▲ 5.0	▲ 25.0	14.2	0.0
建	設 業	59.0	60.0	66.6	50.0	27.2	40.0	0.0	50.0
不	動 産 業	43.7	14.2	60.0	75.0	6.6	0.0	0.0	25.0

1月～3月の県内経済概況

(当金庫景気動向調査まとめ)

1月～3月の調査地区全域における企業の景況感を示す総合業況DIは▲3.3となり、前期比3.3ポイント下降、前年同期比12.5ポイント上昇となっています。

業種別の状況は、製造業は▲3.2となり、前年同期比9.3ポイント上昇、小売業は▲31.1となり前年同期比8.9ポイント上昇、卸売業は▲4.0となり、前年同期比28.0ポイント上昇、サービス業は▲10.1となり、前年同期比10.1ポイント下降、建設業は59.0となり、前年同期比50.0ポイント上昇、不動産業は43.7となり、前年同期比43.7ポイント上昇となっています。

地域別では、別府地区が▲22.0となり、前年同期比0.2ポイント下降、大分地区が7.1となり、前年同期比19.2ポイント上昇、県北地区が17.9となり、前年同期比27.9ポイント上昇となっています。

業 種 別 景 況

製 造 業

● 当期(1月～3月)の景況

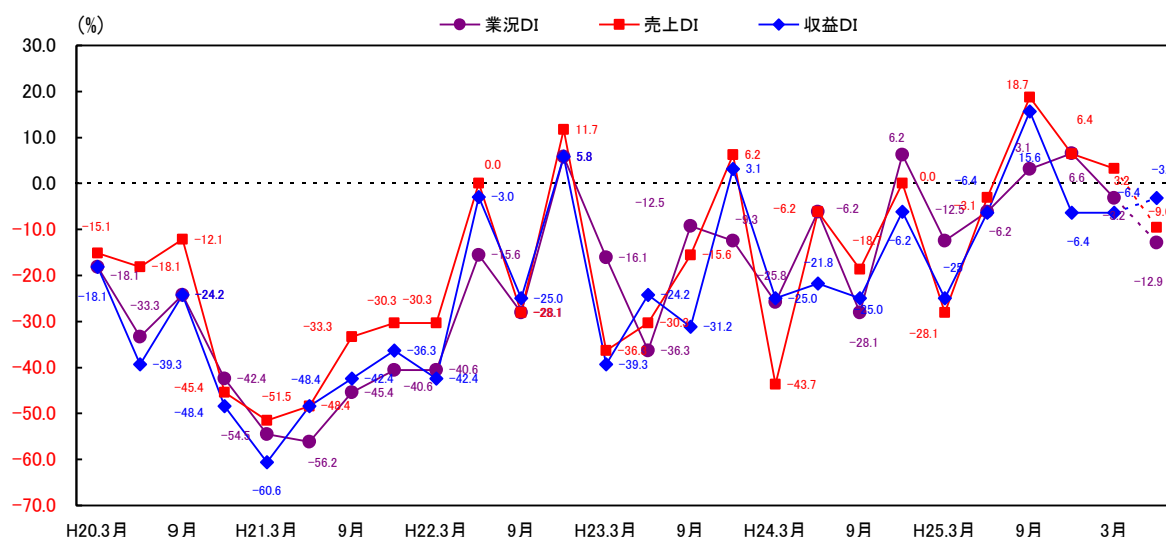
全域における業況DIは▲3.2となり前期比9.8ポイント下降、前年同期比9.3ポイント上昇となっています。売上DIは3.2となり前期比3.2ポイント下落、前年同期比31.3ポイント上昇となっています。収益DIは▲6.4となり前期比同水準、前年同期比18.6ポイント上昇となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が▲6.2となり前期比同水準、前年同期比0.4ポイント下降で、大分地区が0.0となり前期比20.0ポイント上昇、前年同期比60.0ポイント上昇、県北地区が0.0となり前期比44.4ポイント下降、前年同期比同水準となっています。

● 来期(4月～6月)の見通し

全域における業況予想DIは、▲12.9となり今期比9.7ポイント下降となっています。売上予想DIは▲9.6となり今期比12.8ポイント下降となっています。収益予想DIは▲3.2となり今期比3.2ポイント上昇となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲25.0、大分地区が60.0、県北地区が▲30.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

売上停滞・減少	17.8%
原材料高	16.4%
利幅の縮小	12.3%
人手不足	9.5%
同業者間の競争激化	8.2%

最重要経営施策

販路拡大	25.8%
経費節減	24.1%
情報力強化	11.2%
新製品・技術開発	8.0%
人材確保	8.0%
教育訓練強化	6.4%

経営者のみなさまの主なコメント

- 近隣商店街の過疎化により売上は減少。原材料の価格上昇も続いており商品価格の改定を行っている(食品製造)
- 業況は変わらず推移している。春ごろに工場の改修を検討している。(食品製造)
- 引き続き新規卸先を獲得している。人手不足のため従業員の雇用を検討中。これからも販路の拡大を行っていく。(食品製造)
- 食材原価の値上がり収支面に影響を与えている。(食品製造)
- 自動車の駆け込み需要により売上は増加したが、収益性は厳しい。(非鉄金属製造)
- 消費税引き上げにつき、今後の原材料仕入れに影響が出てくる。(家具製造)
- 売上は増加傾向にあるが、原価の上昇、一時的な人件費の増加などにより収益性は厳しくなっている。(金属加工業)

小 売 業

● 当期(1月～3月)の景況

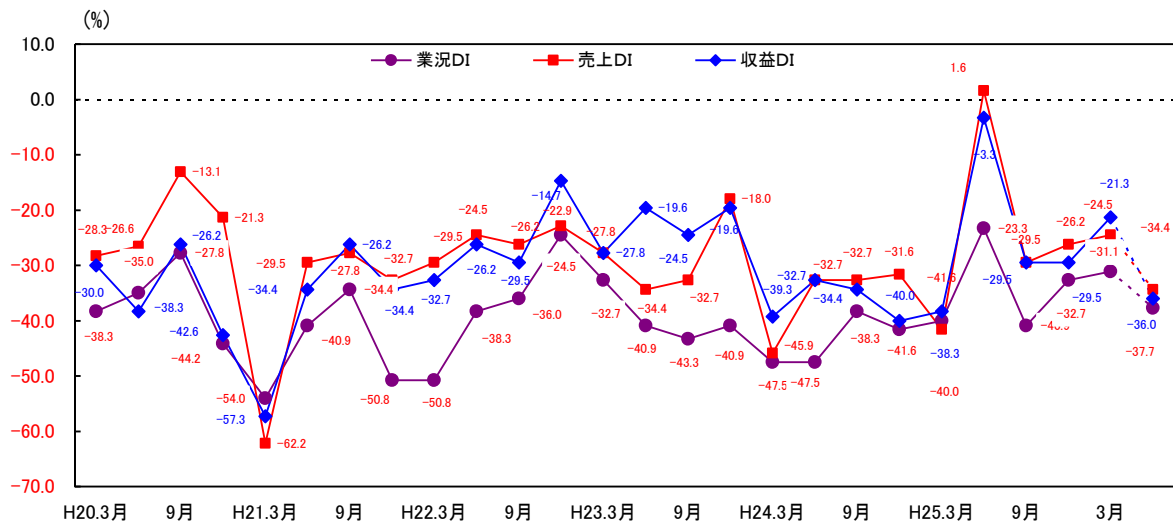
全域における業況DIは▲31.1となり前期比1.6ポイント上昇、前年同期比8.9ポイント上昇となっています。売上DIは▲24.5となり前期比1.7ポイント上昇、前年同期比17.1ポイント上昇となっています。収益DIは▲21.3となり前期比8.2ポイント上昇、前年同期比17.0ポイント上昇となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が▲57.6となり前期比3.8ポイント下降、前年同期比3.9ポイント上昇で、大分地区が▲14.8となり前期比3.7ポイント上昇、前年同期比12.1ポイント上昇で、県北地区が0.0となり前期比12.5ポイント上昇、前年同期比12.5ポイント上昇となっています。

● 来期(4月～6月)の見通し

全域における業況予想DIは▲37.7となり今期比6.6ポイント下降となっています。売上予想DIは▲34.4ポイントとなり、9.9ポイント下降となっています。収益予想DIは▲36.0となり今期比14.7ポイント下降となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲46.1、大分地区が▲37.0、県北地区が▲12.5となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

売上停滞・減少	26.0%
大型店競争激化	16.4%
同業者間の競争激化	16.4%
利幅縮小	9.5%
取引先減少	6.1%

最重要経営施策

経費節減	70.9%
売筋商品取扱	45.4%
品揃え改善	40.0%
宣伝・広告強化	27.2%
商店街事業活性化	12.7%

経営者のみなさまの主なコメント

- 消費増税による売上減少が懸念される。(生鮮食品販売)
- 主力取引先である旅館等の業績不振に伴い、自社も影響を受けているが個人への販売を強化し、売上維持に努めている。(食料品販売)
- 売上の停滞を打破するために、新規取引先の開拓に力を入れている。(食料品販売)
- 売上高は、対前年比増加中である。販路拡大のため営業活動中。(日用品販売)
- 地域の高齢化が深刻であり、人口の減少も顕著である。全国展開の大型店が年々増えており厳しい状況が続いている。更なる経営努力が必要と認識している。(食料品販売)
- 40歳以上の顧客が中心であったが、若い人たちも商品を購入するようになった。(衣料品販売)

卸 売 業

● 当期(1月～3月)の景況

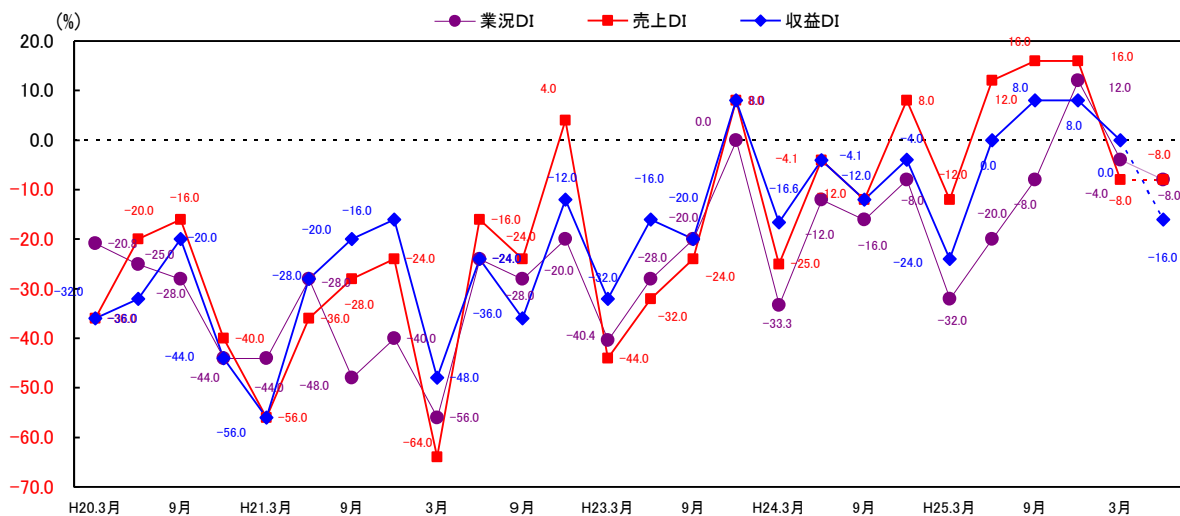
全域における業況DIは▲4.0となり前期比16.0ポイント下降、前年同期比28.0ポイント上昇となっています。売上DIは▲8.0となり前期比24.0ポイント下降、前年同期比4.0ポイント上昇となっています。収益DIは0.0となり前期比8.0ポイント下降、前年同期比24.0ポイント上昇となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が0.0となり前期比44.4ポイント下降し、前年同期比22.2ポイント上昇で、大分地区が0.0となり前期比10.0ポイント上昇、前年同期比20.0ポイント上昇、県北地区が▲16.6となり前期比16.6ポイント下降、前年同期比50.0ポイント上昇となっています。

● 来期(4月～6月)の見通し

全域における業況予想DIは、▲8.0となり今期比4.0ポイント下降となっています。売上予想DIは▲8.0となり今期比同水準となっています。収益予想DIは▲16.0となり、今期比16.0ポイント下降となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲11.1、大分地区が▲10.0、県北地区が0.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

同業者間の競争激化	22.5%
売上停滞・減少	19.3%
利幅縮小	17.7%
取引先減少	6.4%
輸入品との競争激化	6.4%
流通経路変化による競争激化	6.4%

最重要経営施策

販路拡大	30.9%
経費節減	27.2%
情報力強化	12.7%
提携先探す	9.0%
品揃えの充実化	7.2%
人材確保	5.4%

経営者のみなさまの主なコメント

○原価が上がったことにより利幅が縮小している(食品卸)。

○消費税増税により価格を引き上げるか悩んでいる。同業者の動きを見て判断する。(アメリティグズ卸)

○木材の仕入れ価格が上昇している。住宅建設数が増加しており資材不足である。(建築材卸)

○増税後の景気が不透明で先行きが不安であるが、販路拡大を含め営業を強化し、売り上げの増加を図って行く。(バイク用品卸。)

○取引先別に販売価格の見直しを定期的に行っている。(化学製品卸)

○業績はやや停滞気味であり、その原因は原材料の価格の上昇が要因の1つである。以前より在庫過多にならず今後は更なる回転率の向上を目指す。(その他卸)

○消費税増税は不安要素である。現在は商品価格の見直しを検討中。(水産加工物卸)

サービス業

● 当期(1月～3月)の景況

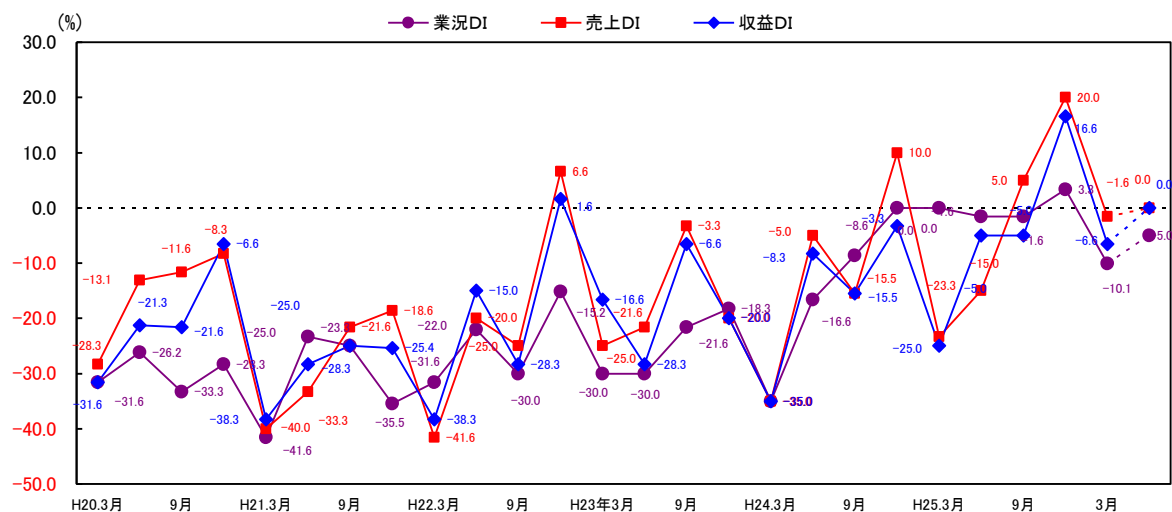
全域における業況DIは▲10.1となり前期比13.4ポイント下降し、前年同期比10.1ポイント下降となっています。売上DIは▲1.6となり前期比21.6ポイント下降、前年同期比21.7ポイント上昇となっています。収益DIは▲6.6となり前期比23.2ポイント下降、前年同期比18.4ポイント上昇となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が▲28.5となり前期比7.1ポイント下降し、前年同期比17.8ポイント下降し、大分地区が3.5となり前期比25.0ポイント下降し、前年同期比7.2ポイント下降で、県北地区が33.3となり前期比33.3ポイント上昇し、前年同期比33.3ポイント上昇しています。

● 来期(4月～6月)の見通し

全域における業況予想DIは▲5.0となり今期比5.1ポイント上昇となっています。売上予想DIは0.0となり今期比1.6ポイント上昇となっています。収益予想DIは0.0となり今期比6.6ポイント上昇となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲25.0、大分地区が14.2、県北地区が0.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

売上停滞・減少	22.0%
同業者間の競争激化	16.1%
材料価格の上昇	11.7%
利幅縮小	10.2%
人手不足	5.8%

最重要経営施策

経費節減	24.2%
販路拡大	22.6%
人材確保	9.3%
宣伝・広告強化	8.5%
提携先探す	7.0%
技術力強化	7.0%
店舗・設備改装	5.4%

経営者のみなさまの主なコメント

- 従業員が不足している。(ホテル業)
- 売上・収益が対前年同月比で減少している。固定客の確保が必要。(理容業)
- 売上は、対前年でマイナス傾向。消費税増税後、販売価格に転嫁できるかが課題。(ホテル業)
- 若手従業員(正社員)の手当てを増やした。今後新事業も視野に入れて経営努力を続けていく。(クリーニング業)
- 長年営業を行っているが、ここ数年治療費の変更はしていない。消費税率引上げによる直接の影響は少ないものの患者の家計費増により、来院が遠のく可能性は十分ある。(医療)
- 観光業を営んでいる。消費税増税による入場料の引上げを検討(娯楽業)
- 懸念していた増税後のゴールデンウィークの予約状況は、順調である。今のところ例年通りの見通し。(旅館業)
- 海外の旅行サイトの影響により、外国人宿泊客が増加している。(旅館業)
- 食材の仕入価格が上昇しているが、まだ料金には反映していない。(飲食業)

建設業

● 当期(1月～3月)の景況

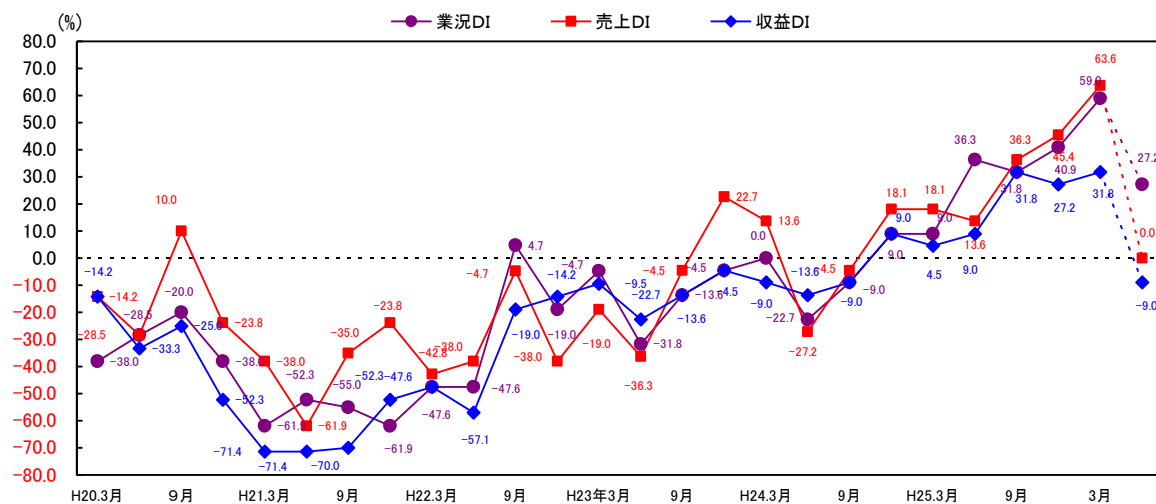
全域における業況DIは59.0となり前期比18.1ポイント上昇、前年同期比50.0ポイント上昇となっています。売上DIは63.6となり前期比18.2ポイント上昇、前年同期比45.5ポイント上昇となっています。収益DIは31.8となり前期比4.6ポイント上昇、前年同期比27.3ポイント上昇となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が60.0となり前期比20.0ポイント上昇、前年同期比60.0ポイント上昇で、大分地区が66.6となり前期比22.2ポイント上昇、前年同期比66.6ポイント上昇で、県北地区が50.0となり前期比12.5ポイント上昇、前年同期比25.0ポイント上昇となっています。

● 来期(4月～6月)の見通し

全域における業況予想DIは27.2となり今期比31.8ポイント下降となっています。売上予想DIは0.0となり今期比63.6ポイント下降となっています。収益予想DIは▲9.0となり今期比40.8ポイント下降となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が40.0、大分地区が0.0、県北地区が50.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

材料価格の上昇	25.5%
人手不足	19.1%
同業者間の競争激化	17.0%
利幅縮小	8.5%
下請の確保難	8.5%
人件費増加	6.3%

最重要経営施策

経費節減	21.2%
人材確保	21.2%
技術力向上	21.2%
情報力強化	14.8%
販路拡大	14.8%

経営者のみなさまの主なコメント

- 消費税増税前の駆け込み需要で、個人住宅の受注が増加している。増税後の反動が不安である。(総合建設業)
- 関連会社で進めている分譲マンションプロジェクトがよい動き出す。(総合建設業)
- 引続き九州北部豪雨の復旧関連工事や近隣地区の道路舗装工事等の公共工事を中心とした受注が好調。(土木一式・舗装工事業)
- 駆け込み需要により、売上は増加。しかし、4月以降の受注が課題。(建設業)
- 基礎工事については、増税前の駆け込み需要により売上が増加した。(基礎工事業)
- 消費税増税前で問い合わせも多かった。4月以降も大きな影響はないと考える。(住宅建築業)
- 4月までは新築工事の受注で忙しい。増税後の需要冷え込みが懸念される。(建設業)

不 動 産 業

● 当期(1月～3月)の景況

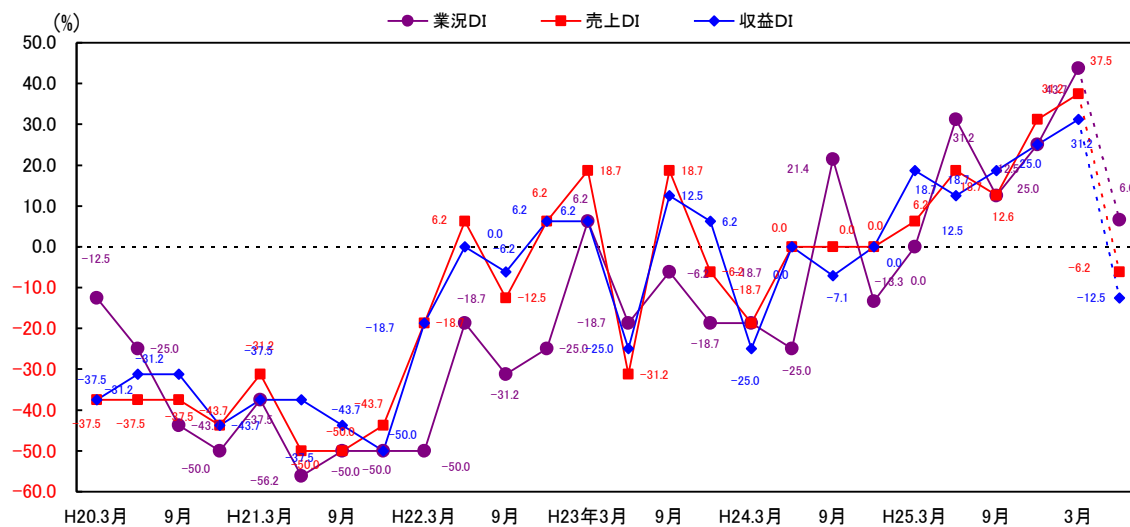
全域における業況DIは、43.7となり前期比18.7ポイント上昇、前年同期比43.7ポイント上昇となっています。売上DIは37.5となり前期比6.3ポイント上昇、前年同期比31.3ポイント上昇となっています。収益DIは31.2となり前期比6.2ポイント上昇、前年同期比12.5ポイント上昇となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が14.2となり前期比14.3ポイント下降、前年同期比14.3ポイント下降で、大分地区が60.0となり前期比20.0ポイント上昇、前年同期比80.0ポイント上昇で、県北地区が75.0となり前期比75.0ポイント上昇、前年同期比75.0ポイント上昇となっています。

● 来期(4月～6月)の見通し

全域における業況予想DIは6.6となり、今期比37.1ポイント下降となっています。売上予想DIは▲6.2となり、今期比43.7ポイント下降となっています。収益予想DIは▲12.5となり、今期比43.7ポイント下降となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が0.0、大分地区が0.0、県北地区が25.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

同業者間の競争激化	16.6%
利幅縮小	16.6%
商品物件困足	16.6%
大手企業との競争激化	10.0%
問題なし	6.6%

最重要経営施策

情報力強化	29.4%
販路拡大	23.5%
経費節減	14.7%
宣伝・広告強化	14.7%
人材確保	5.8%

経営者のみなさまの主なコメント

- 所有不動産の稼働状況は順調であり収益に大きな変化はない。(不動産業)
- 特に大きな変化はないが、消費税増税後が不安。(不動産仲介業)
- 消費税増税による駆け込み需要で売上は増加。増税後の売上維持が課題。(不動産仲介業)
- 土地の動きは活発で、非常に多忙。(不動産仲介業)
- 消費税が3%から5%のときは中古物件の駆け込みがあったが、今回は大きな動きはない。(不動産販売業)
- 最近は見積もり依頼も多く繁忙。増税後の影響については未知数。(建築不動産業)

D I 数 値

全域合計

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	1月～3月実績	△ 3.3	△ 3.2	△ 31.1	△ 4.0	△ 10.1	59.0	43.7
	4月～6月予想	△ 11.7	△ 12.9	△ 37.7	△ 8.0	△ 5.0	27.2	6.6
売 上	1月～3月実績	1.4	3.2	△ 24.5	△ 8.0	△ 1.6	63.6	37.5
	4月～6月予想	△ 12.6	△ 9.6	△ 34.4	△ 8.0	0.0	0.0	△ 6.2
受 注 残	1月～3月実績	30.2	19.3	***	***	***	45.4	***
	4月～6月予想	△ 13.2	△ 9.6	***	***	***	△ 18.1	***
施工高	1月～3月実績	54.5	***	***	***	***	54.5	***
	4月～6月予想	△ 9.1	***	***	***	***	△ 9.0	***
収 益	1月～3月実績	△ 3.3	△ 6.4	△ 21.3	0.0	△ 6.6	31.8	31.2
	4月～6月予想	△ 14.4	△ 3.2	△ 36.0	△ 16.0	0.0	△ 9.0	△ 12.5
販売価格	1月～3月実績	4.6	12.9	△ 1.6	6.8	△ 6.6	27.2	18.7
	4月～6月予想	8.0	0.0	6.5	8.0	11.1	13.6	12.5
仕入価格	1月～3月実績	25.2	22.5	21.3	20.0	21.6	59.0	20.0
	4月～6月予想	27.1	32.2	26.2	20.0	30.0	27.2	20.0
在庫	1月～3月実績	1.9	6.4	4.9	8.0	***	0.0	△ 26.6
	4月～6月予想	0.6	6.4	0.0	0.0	***	0.0	△ 6.6
資金繰り	1月～3月実績	△ 7.9	△ 12.9	△ 22.9	12.0	△ 13.3	22.7	6.2
	4月～6月予想	△ 9.3	△ 3.2	△ 26.2	△ 8.0	△ 6.6	13.6	0.0
残業時間	1月～3月実績	4.2	△ 6.4	0.0	0.0	0.0	40.9	12.5
	4月～6月予想	△ 1.9	△ 6.4	△ 1.6	0.0	△ 10.0	22.7	0.0
人手状況	1月～3月実績	△ 12.1	0.0	△ 4.9	0.0	△ 18.3	△ 45.4	△ 12.5
	4月～6月予想	△ 13.5	△ 6.4	△ 1.6	△ 12.0	△ 23.3	△ 40.9	0.0

別府地区

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	1月～3月実績	△ 22.0	△ 6.2	△ 57.6	0.0	△ 28.5	60.0	14.2
	4月～6月予想	△ 24.4	△ 25.0	△ 46.1	△ 11.1	△ 25.0	40.0	0.0
売 上	1月～3月実績	△ 20.9	△ 12.5	△ 46.1	△ 22.2	△ 21.4	40.0	14.2
	4月～6月予想	△ 22.0	△ 18.7	△ 53.8	△ 22.2	7.1	△ 40.0	△ 14.2
受 注 残	1月～3月実績	4.8	12.5	***	***	***	△ 20.0	***
	4月～6月予想	△ 23.8	△ 6.2	***	***	***	△ 80.0	***
施工高	1月～3月実績	20.0	***	***	***	***	20.0	***
	4月～6月予想	△ 80.0	***	***	***	***	△ 80.0	***
収 益	1月～3月実績	△ 24.2	△ 18.7	△ 46.1	△ 11.1	△ 25.0	0.0	14.2
	4月～6月予想	△ 24.2	△ 6.2	△ 57.6	△ 33.3	3.5	△ 60.0	△ 14.2
販売価格	1月～3月実績	1.1	12.5	△ 3.8	0.0	△ 7.1	40.0	0.0
	4月～6月予想	9.9	6.2	7.6	0.0	14.2	40.0	0.0
仕入価格	1月～3月実績	26.4	25.0	23.0	11.1	35.7	60.0	0.0
	4月～6月予想	35.2	37.5	34.6	11.1	50.0	40.0	0.0
在庫	1月～3月実績	△ 1.6	0.0	11.5	△ 11.1	***	0.0	△ 42.8
	4月～6月予想	△ 6.3	0.0	3.8	△ 22.2	***	0.0	△ 42.8
資金繰り	1月～3月実績	△ 17.6	△ 18.7	△ 34.6	22.2	△ 28.5	20.0	14.2
	4月～6月予想	△ 18.7	△ 18.7	△ 38.4	0.0	△ 14.2	0.0	0.0
残業時間	1月～3月実績	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 7.1	20.0	14.2
	4月～6月予想	△ 2.2	△ 6.2	0.0	11.1	△ 14.2	20.0	14.2
人手状況	1月～3月実績	△ 18.7	△ 18.7	△ 7.6	0.0	△ 32.1	△ 40.0	△ 14.2
	4月～6月予想	△ 19.8	△ 18.7	△ 3.8	△ 11.1	△ 39.2	△ 40.0	0.0

大分地区

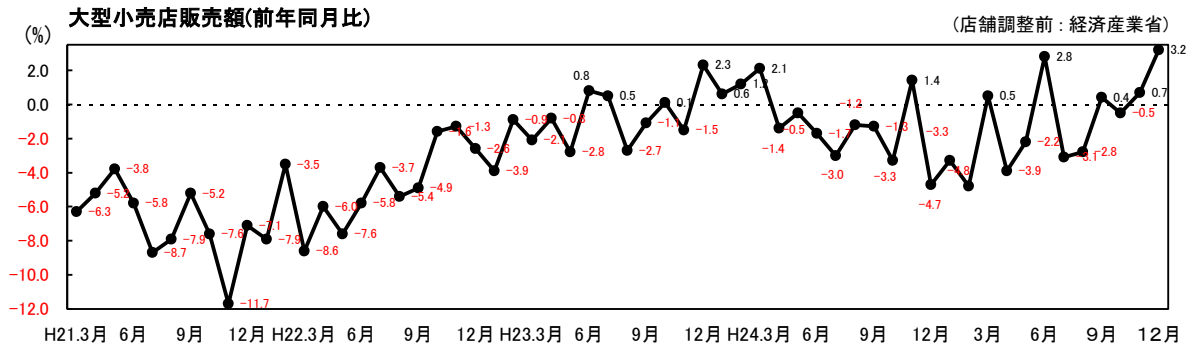
		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	1月～3月実績	7.1	0.0	△ 14.8	0.0	3.5	66.6	60.0
	4月～6月予想	△ 4.8	60.0	△ 37.0	△ 10.0	14.2	0.0	0.0
売 上	1月～3月実績	13.1	0.0	△ 14.8	10.0	10.7	88.8	60.0
	4月～6月予想	△ 8.3	40.0	△ 25.9	0.0	△ 3.5	0.0	△ 20.0
受 注 残	1月～3月実績	57.1	20.0	***	***	***	77.7	***
	4月～6月予想	0.0	20.0	***	***	***	△ 11.1	***
施工高	1月～3月実績	77.8	***	***	***	***	77.7	***
	4月～6月予想	0.0	***	***	***	***	0.0	***
収 益	1月～3月実績	11.9	0.0	△ 3.7	0.0	7.1	66.6	60.0
	4月～6月予想	△ 9.5	40.0	△ 22.2	△ 10.0	△ 7.1	0.0	△ 20.0
販売価格	1月～3月実績	2.4	0.0	0.0	0.0	△ 7.1	33.3	20.0
	4月～6月予想	4.7	0.0	3.7	0.0	10.7	0.0	0.0
仕入価格	1月～3月実績	23.8	40.0	22.2	10.0	10.7	66.6	40.0
	4月～6月予想	15.5	20.0	14.8	10.0	10.7	22.2	40.0
在庫	1月～3月実績	△ 1.7	20.0	△ 7.4	10.0	***	0.0	△ 20.0
	4月～6月予想	3.6	20.0	△ 3.7	0.0	***	0.0	40.0
資金繰り	1月～3月実績	△ 2.4	△ 20.0	△ 14.8	20.0	△ 7.1	33.3	0.0
	4月～6月予想	△ 4.8	40.0	△ 18.5	△ 10.0	△ 7.1	22.2	0.0
残業時間	1月～3月実績	7.1	0.0	0.0	0.0	7.1	33.3	20.0
	4月～6月予想	△ 1.3	20.0	△ 3.7	0.0	△ 3.5	0.0	0.0
人手状況	1月～3月実績	△ 3.6	40.0	0.0	0.0	△ 7.1	△ 22.2	△ 20.0
	4月～6月予想	△ 6.0	20.0	0.0	△ 10.0	△ 10.7	△ 22.2	0.0

県北地区

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	1月～3月実績	17.9	0.0	0.0	△ 16.6	33.3	50.0	75.0
	4月～6月予想	2.5	△ 30.0	△ 12.5	0.0	0.0	50.0	25.0
売 上	1月～3月実績	27.5	30.0	12.5	△ 16.6	50.0	50.0	50.0
	4月～6月予想	0.0	△ 20.0	0.0	0.0	△ 25.0	25.0	25.0
受 注 残	1月～3月実績	38.9	30.0	***	***	***	50.0	***
	4月～6月予想	△ 11.1	△ 30.0	***	***	***	12.5	***
施工高	1月～3月実績	50.0	***	***	***	***	50.0	***
	4月～6月予想	25.0	***	***	***	***	25.0	***
収 益	1月～3月実績	12.5	10.0	0.0	16.6	25.0	12.5	25.0
	4月～6月予想	△ 2.5	△ 20.0	△ 12.5	0.0	25.0	12.5	0.0
販売価格	1月～3月実績	15.0	20.0	0.0	16.6	0.0	12.5	50.0
	4月～6月予想	17.5	△ 10.0	12.5	33.3	50.0	12.5	50.0
仕入価格	1月～3月実績	25.6	10.0	12.5	50.0	0.0	50.0	33.3
	4月～6月予想	33.3	30.0	37.5	50.0	25.0	25.0	33.3
在庫	1月～3月実績	14.3	10.0	25.0	33.3	***	0.0	0.0
	4月～6月予想	8.6	10.0	0.0	33.3	***	0.0	0.0
資金繰り	1月～3月実績	2.5	0.0	△ 12.5	△ 16.6	50.0	12.5	0.0
	4月～6月予想	2.5	0.0	△ 12.5	△ 16.6	50.0	12.5	0.0
残業時間	1月～3月実績	7.5	△ 20.0	0.0	0.0	0.0	62.5	0.0
	4月～6月予想	△ 2.5	△ 20.0	0.0	△ 16.6	△ 25.0	50.0	△ 25.0
人手状況	1月～3月実績	△ 15.0	10.0	△ 12.5	0.0	0.0	△ 75.0	0.0
	4月～6月予想	△ 15.0	0.0	0.0	△ 16.6	0.0	△ 62.5	0.0

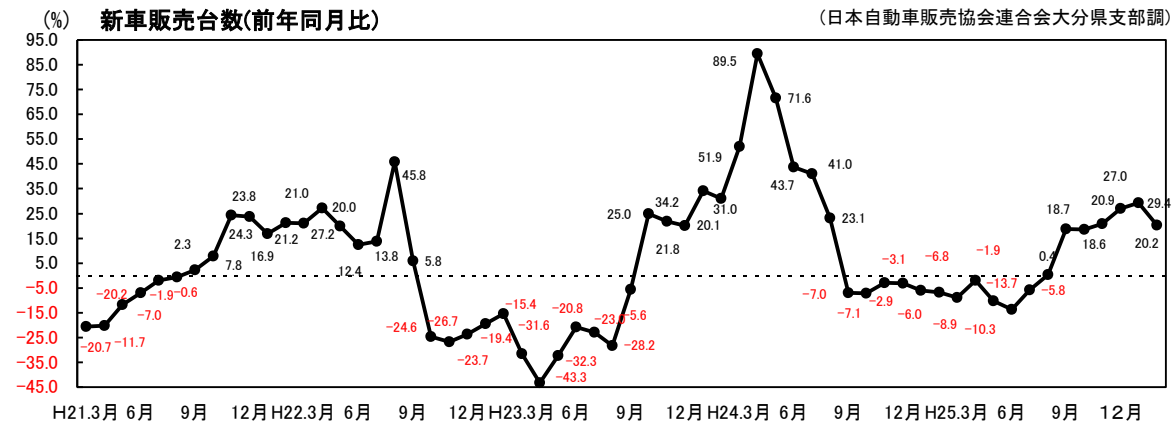
大型小売店販売額

平成25年12月の県内大型小売店販売額は139億2千1百万円で、前年同月比3.2ポイントの上昇となっています。店舗調整後は前年同月比3.1ポイントの上昇となっています。品目別では、衣料品が前年同月比2.7ポイントの下降、飲食料品が6.9ポイントの上昇、その他の商品が3.1ポイントの上昇となっています。



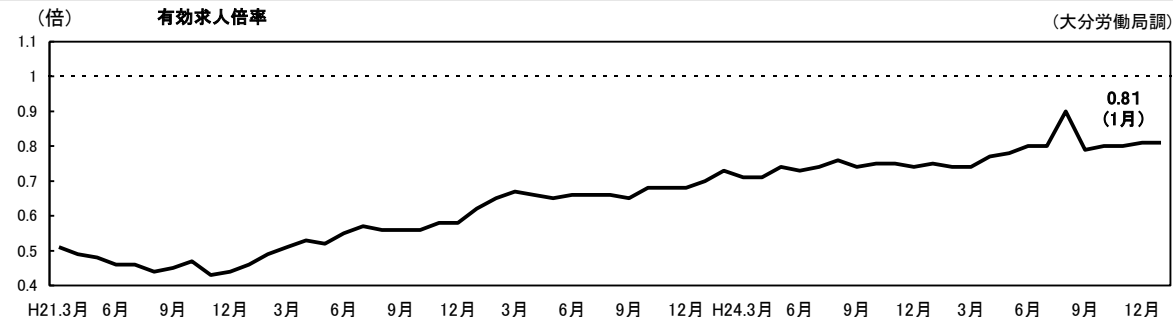
新車販売台数

2月の登録車と軽四輪車合計の新車販売台数(総合計)は3,143台で前年同月を20.2%上回り、6ヵ月連続のプラスとなりました。車種別では、普通乗用車が1,384台で前年同月比32.6%増加し、小型乗用車が1,442台で前年同月比8.6%増加となっています。



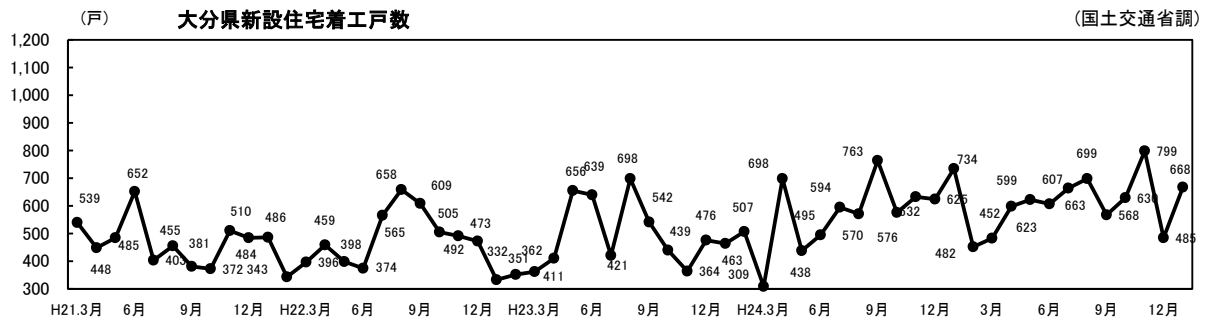
有効求人倍率

平成25年11月の県内有効求人倍率は0.80倍で全国平均は1.01倍、12月の県内有効求人倍率は0.81倍で全国平均は1.03倍、平成26年1月の県内有効求人倍率は0.81倍で全国平均は1.04倍、となっています。平成26年1月の地域別では大分管内が0.88倍、別府管内が0.72倍、中津管内が0.81倍となっています。



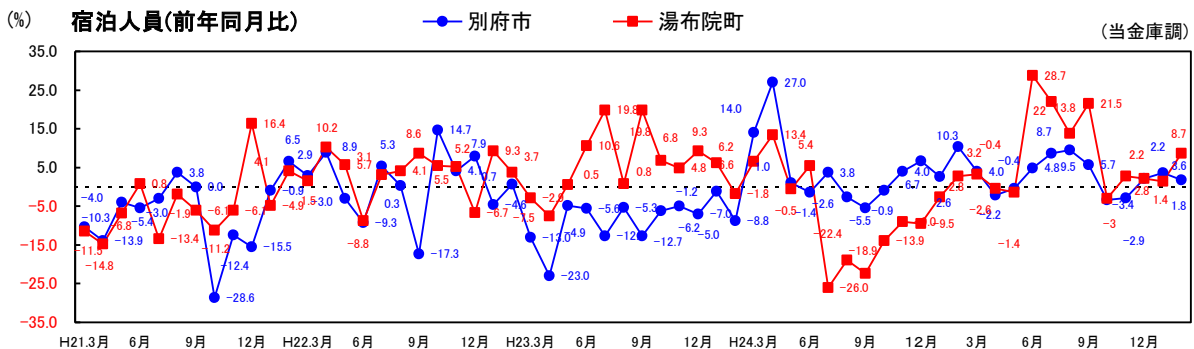
新設住宅着工戸数

平成25年12月の住宅着工戸数は668戸、平成26年1月は485戸でした。1月の485戸のうち、持家は232戸、貸家は188戸、分譲住宅は30戸となっています。



観光動向

平成26年1月の前年同月比宿泊人数は、別府地区で3.6ポイントの上昇、湯布院地区で1.4ポイントの上昇、2月は別府地区で1.8ポイントの上昇、湯布院地区で8.7ポイントの上昇となっています。



企業倒産状況

東京商工リサーチ大分支店の調査によると、平成25年12月の県内の企業倒産件数は3件で負債総額は1億6千万円、平成26年1月は9件で24億7千5百万円、2月は5件で3億5千8百万円となっています。

